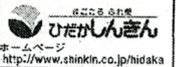


TU57-U034
 浦河町埠町西1丁目3-20
 TEL(代表)0146-22-2411
 FAX 0146-22-2538
 編集部 0146-22-2411
 営業部 0146-22-2417
 管内支社 0146-42-1411
 門別支局 01456-3-2251

パン巡回

つり行事多彩に

空を飾る。
 日本ハムのスマイル
 キャラバンは、ステーション
 が14日は午後11時から
 オープニングで「ウエ
 ルカムもんすけ」、Q
 ともんすけのダンス
 ゲーム。0時45分から
 カムもんすけ「Q
 Runeのミニライブ、ともんすけのダンスゲー

ひだかしんきん住宅ローン
 特別金利にて
 キャンペーン実施中！
 詳細は窓口まで

 ホームページ
<http://www.shinkin.co.jp/hidaka>

北見の活動聞き意見交換 浦河の医療機関を守る会が



浦河の医療機関を守る会(大下富雄会長、構成
 21団体)の研修会が4
 日、浦河町総合文化会館
 で開かれ、地域医療の支
 援活動に取り組んでいる
 「北見赤十字病院の明日
 を考え支える会(逢坂信治代表)」の幹部から
 活動内容を聞き、意見交
 換した。

浦河の守る会は平成
 26年7月に発足。町社
 協を事務局に、町や民生
 児童委員協議会、商工会
 議所、農協・漁協、建
 設協会、ロータリーク
 ラブ、高校、消費者協
 会、町内福祉施設法人で
 構成。浦河赤十字病院を
 中心に、地域医療機関に
 対する支援や要請・提言
 などを目指す活動してい
 る。

今回は低迷している会
 の運営参考のため、平成
 21年末に市民有志で発
 足し、北見赤十字に対す
 る支援活動を進めている
 同会幹部を招き、設立経
 緯や活動内容を聞いた。

北見赤十字の会は、元
 中学教師で副代表の谷川
 勝男さんが呼び掛け、市
 民有志で結成。現在30
 人ほどの会員がいる。研
 修会には約30人が参加
 し、逢坂、谷川両代表ら
 幹部3人が説明した。

最近まで代表を務めた
 谷川さんは「100人近
 い医師がいる北見日赤
 で、平成20年に内科の
 全医師6人が退職する事
 態になり、内科棟から
 明かりが消えた。市民が
 地域医療の将来をもっと
 考え、市民の手で何とか
 しなければと思いつい
 った」とう。

13、14人ほどいた内
 科医が徐々に減り、長時
 間夜間勤務など診療負担
 の限界を訴えて全員が辞
 職した。

浦河町は5日、海岸に
 元浦川などから太平洋に
 流出した流木が秋伏漁港
 周辺海岸に大量に打ち上
 げられたため、酒井建設
 は漁業関係者への救済活
 動として数日間わた
 り、無償の流木処理作業
 を実施した。



酒井建設の明井技師(右)に感謝状を贈る真下課長(左)

【新ひだか】町議会臨時
 会が5日に開かれ、平成
 28年度一般会計補正予
 算など議案2件を原案通
 り可決して同日閉会し
 た。

5月31日の落雷によ
 る神森浄水場などの被害
 (8件、1897万5千
 円)と、6月16、21日
 の低気圧による大雨被害
 (91件、1億2435万
 6千円)の復旧工事に係
 る予算計上で、一般会計
 補正予算は1億3627
 万8千円を追加し、総額
 を17億2822万3千
 円とした。

め、医師不足の大きな問
 題としてクローズアップ
 された。

会結成後は機関誌「オ
 ホリックの風」を17号
 まで発行し、北見赤十字
 の職員を招き、病院の現
 状や課題について説明を
 受け、意見交換したり、
 参加者からは機関誌や

病院の協力で院内見学会
 も実施。
 病院長や看護部長との
 座談会、医療講演、臨床
 研修医と焼肉と地ビール
 で歓迎交流、協賛医療パ
 ネル展など精力的に活動
 を展開している。

活動費の確保などの質問
 があった。北見の会では
 地元企業の協賛を得てや
 りくり、機関誌は関係
 者に約1500部の限定配
 布で、「会員が増え、活
 動費の確保は大きな課
 題」と説明していた。

流木除去の奉仕作業

浦河町が酒井建設に感謝状

写真の写し
 1枚200円
 2枚300円ほか
 送料はお客様負担
 日高報知新聞社
 5-22-2411へ

7月27日
 28日
 浦河は最大24時間降水
 量と最大1時間降水量が
 7月として観測史上2番
 目となった。

7月27日
 28日
 浦河は最大24時間降水
 量と最大1時間降水量が
 7月として観測史上2番
 目となった。

観測史上2番目の雨量

7月27
 28日
 浦河は最大24時間降水
 量と最大1時間降水量が
 7月として観測史上2番
 目となった。